

受付No. (人)	受付No. (件)	概要	反映	市の考え方
1	1	<p>ふるさと天文館は老朽化を理由に廃止が検討されているが、宇宙産業が成長するこれからの時代において、特に子どもたちの宇宙や科学への関心を育む場として、その価値はむしろ高まっている。市内で唯一宇宙を身近に感じられる貴重な施設であり、利用者数が少ないのは価値の低さではなく、認知不足や運営方法の工夫で改善できる可能性がある。利用状況だけでなく、市民ニーズや将来性を踏まえ、学校教育や観光、民間連携などによる再活性化を図るべきであり、廃止ではなく継続維持と機能強化の方向で再検討を強く求める。</p>	無	<p>ふるさと天文館につきましては、近年の利用者数は限られており、さらに特定の利用者にとどまっている状況にあります。また、施設全体の老朽化が進んでおり、今後は安全性を確保するための更新や改修に多額の費用が見込まれています。本市では、限られた財源の中で、すべての公共施設について利用状況や維持管理費、将来負担、市民全体への公平性などを総合的に検討しています。ふるさと天文館についても、当面は維持管理を行いながら、将来的なあり方について検討を進めているところです。</p> <p>ご意見にあるような、民間との連携などは重要な視点であると認識しておりますが、設備の更新や機能強化を行うためには、相応の財源確保と、より多くの市民に継続的に利用される見込みが必要となります。その点を総合的に勘案した結果、現時点では廃止も含めた方向性について検討せざるを得ない状況にあるため、記載内容の変更は行いません。</p> <p>引き続き、市全体として総合的に公共サービスのあり方について、慎重に検討を進めてまいります。</p>
	2	<p>プール施設は更新費用を理由に廃止し、民間活用へ切り替える方針が示されているが、学校教育に限らず、市民の健康づくりや交流の場として重要な役割を果たしてきた。利用者減少は需要低下だけでなく、老朽化による魅力低下が要因である可能性があり、櫛形公園の事例のように、適切な更新により利用回復が期待できる。更新費用のみで廃止を判断するのではなく、利用実態や将来需要を踏まえ、建て替えや機能改善を含めた総合的な検討を行い、存続の可能性を慎重に検討すべきである。</p>	有 (一部)	<p>本計画において、今後の施設方針に記載した「大規模な更新費用がかかることが認められた場合には廃止を検討する」という旨の記載につきましては、市内すべてのプール施設を対象としたものではなく、主に学校プール施設を想定した内容でしたが、その趣旨が十分に伝わらず、誤解を招く表現となっております。</p> <p>このため、市民の皆さまに正確にご理解いただけるよう、対象となる施設の範囲が明確になるよう記載方法の見直しを行います。</p> <p>よって、櫛形総合公園のプール施設は、この方針に含まれる施設ではなく、今後も継続して維持していく方針であります。</p>